

## (2) アジア科学技術協力の戦略的推進

平成18年度予定額 5億円(新規) ※  
※科学技術振興調整費による充当見込み額

- 目的: アジア諸国、特に中国、韓国、インドやASEAN諸国とのオープンで対等なパートナーシップを拡げることにより、我が国が地域の科学技術の発展を先導する。特に、地域共通課題の解決やグローバルな問題に対するアジアとしての貢献(環境・エネルギー、防災、感染症等)、アジア地域発の科学技術の創出とこれらの分野を得意とする科学技術人材層の蓄積を通じて、アジア地域の優位性の確保を図る。
- 対象機関: 研究機関全般を対象とする
- 実施期間: ①機動的国際交流・・・5年間(3年目に中間評価)  
②地域共通課題解決型国際共同研究・・・原則3年間
- 実施規模: ①機動的国際交流・・・年間1億5千万円程度(間接経費を含む)  
②地域共通課題解決型国際共同研究・・・年間3千万円程度(間接経費を含む)

※「我が国の国際的リーダーシップの確保」(平成17年度限りで新規課題の公募を終了)をアジアを中心に再設定

### ① 機動的国際交流

- ・ アジア諸国の大学・研究機関間、アカデミー間、研究助成機関間等の多層的な枠組みにおける交流を機動的かつ戦略的に支援(国際会議の開催、人的交流等によるネットワーク(コミュニティ)構築)
- ・ すべての機関・組織を対象にコーディネータ機関を公募。コーディネータ機関では科学技術交流戦略を策定するとともに、大学、研究機関、学協会等の要請を踏まえて機動的に国際交流プログラムを実施

### ② 地域共通課題解決型国際共同研究

- ・ i) 中韓を中心とした東アジア、ii) ASEAN諸国を中心とした東南アジア、iii) インド以西のアジア地域、iv) その他のアジア地域、の各地域の特色・情勢を踏まえ、政府間の合意等に基づき政策的に必要な地域共通課題解決型国際共同研究の立上げ、初動段階を支援
- ・ 各地域の特色・情勢に応じた募集領域を政策的に設定し、すべての研究機関を対象に公募を実施



戦略的なアジア科学技術協力の実現

各主体が地域共通課題やグローバルな問題に対するアジアとしての貢献(環境・エネルギー、防災、感染症等)に対する取組を進めることにより、アジア科学技術協力の戦略的な推進に資する